

子育てで世界をつなぐ場所に

外国人子育て支援グループ 「ぷらっとあそぼうドットg」



お抹茶を楽しむ参加者とスタッフ

2006年6月に活動を開始した外国人子育て支援グループ「ぷらっとあそぼうドットg」。浦和駅東口のコムナーレ9階にあるさいたま市国際交流センターの多目的室で、毎月第2土曜日10時から12時の間、子育て中の家族を対象にトークやレクリエーションを行っています。

「3年経って、やっと形ができてきた感じがですね」と語るのは、代表の高橋靖子さん。きっかけは日本人と結婚した外国人の女性が子どもの具合が悪くて

困っていたことから。医者に行くほどではないが誰かに相談したい、でも誰に相談していいのかわからない。子育てにも言葉が通じなくて苦労しているという。ならば自分たちでできる範囲で、外国人の親をサポートしようと考え、高橋さんほか4名でグループを立ち上げました。現在は12名に増え、中国人や韓国人、タイ人のスタッフもいます。

「日本に来た外国人が最初に望むことは、母国の人には、どこに行けば会えるのかということ。ここで母国語を使っていると思いきり話してもらえればと思っています。将来的にはここでいろいろな国のコミュニティが生まれたらうれしいですね」と高橋さん。

活動日には、7、8家族が参加。日本をはじめ中国、韓国、スウェーデン、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイなど、毎回さまざまな方々が交流を楽しみます。これまでに行ったトークでは、国際結婚や日本で困ったことなど身近なことが多くなっています。言葉の問題や日本の習慣、仕事をするのに子どもをどこに預けたらいいかなど、日本で暮らすことのもさまざまな悩みが具体的に話し合われています。



レクリエーションで遊ぶ子どもたち

●問い合わせ
活動日(毎月第2土曜日10時から12時)
さいたま市国際交流センター:(財)さいたま市国際交流協会
「ぷらっとあそぼうドットg(代表高橋まで)」
☎048-813-8500

ます。レクリエーションでは折り紙など日本の遊びを紹介したり、日本の伝統的な行事を催します。

取材時に参加されていた韓国人の崔圭^{チェギユ}さんは「日本に来た当時は言葉に苦労しました。ここで母国の人に会えて良かったです」と笑顔がこぼれていました。「いろいろな国の人たちと交流できるのが楽しいですね」と話すトリー^{トリー}エリックソンさんはスウェーデンから来日。お二人とも積極的に活動に参加されています。

高橋さんは「プロではないので解決や助言などはできませんが、自分の子どもの悩みを聞いた時に母親がするようなアドバイスができればと思っています。今後も外国人の方々が安心してさいたま市で暮らせるようなネットワークづくりを進めていきたいですね。日本人の方、外国人の方問わず、ぜひ足を運んでください。ここが、多国籍・多民族の井戸端会議の場所になれたら」と力強く語ってくれました。

広告スペース

この情報誌の作成費用の一部を広告料収入でまかなっています。



平成22年3月1日発行

【編集・発行】さいたま市市民局生活文化部男女共生推進課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL.048-829-1231

本誌へのご意見・ご感想は男女共生推進課まで。FAX、E-mail、ホームページでも受け付けています。

FAX.048-829-1969 E-mail:danjo-kyosei@city.saitama.lg.jp